

# 茅野市八ヶ岳通信

尖石考古館一

## 最古の国宝「縄文のビーナス」

この度、尖石考古館所蔵の土偶「縄文のビーナス」が国宝に指定されました。

国宝は、重要文化財の中から「世界文化の見地から価値の高いもので、たぐいない国民の宝」（文化財保護法）として文部大臣が指定するものです。

遺跡での出土状態が明らかであること、完全な形をしていること、保存の状態が良いこと、顔やからだの表現等縄文時代中期の立像土偶の特徴が余すところな

く表現されているのが主な指定理由です。

国宝に縄文時代のものが指定されたのは初めてのこととで、最も古い時代の国宝ということになります。

この土偶は、昭和61年に茅野市米沢埴原田の棚畠遺跡の発掘調査で出土しました。約4,500年ほど前の縄文時代中期に栄えた村の、中央広場に掘られた小さな穴に横たえる形で埋められていました。この土偶にどの様な願いを込めたのでしょうか。

### 無料開館盛況

「縄文のビーナス」は、国宝指定のための審査と新指定の公開展示のため、しばらくの間考古館を留守にしていましたが、ようやく考古館に戻ってきました。国宝指定の記事が新聞やテレビで報道されてすぐに考古館に来られた方も多く、レプリカ展示であったため、ご迷惑をおかけしました。

考古館では「縄文のビーナス」国宝指定を記念して、6月10日から18日までの間、考古館の入場料を無料にし、市民の皆さんに披露しました。

無料開館中の入館者は2,601名で、市内からも796名が来館しました。市内や近隣市町村からの来館者は、市の「お知らせ」や新聞・テレビなどで無料と知って来られた方がほとんどですが、県外からの来館者はほとんどが知らずに来られた方で、思わずプレゼントに



にっこりでした。

秋には国宝指定の記念行事として、講演会を開催する予定で、その時にもう一度無料公開を行なう計画もありますので、今回見学に来られなかった方は、ぜひその機会にお出でください。

### 土器教室でも「ビーナス」が大人気

毎年6月の第2・3日曜日に開催される縄文土器製作教室も今年で16回目を迎えました。講師は第1回の教室から指導をお願いしている遠藤昭男先生です。

無料開館中ということもあり、見学者多く、「来年はぜひ」という声も多数聞かれました。

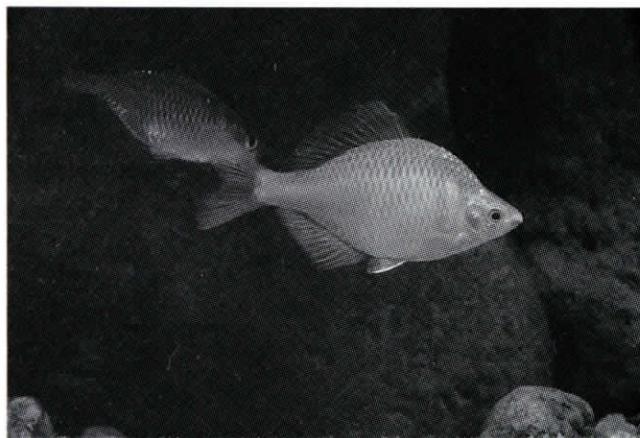
ここでも「縄文のビーナス」に人気が集まり、7名が挑戦しました。悪戦苦闘を重ねながらも、初日でほぼ形ができ上がり、少し乾いたところで頭の文様に挑戦。あとは10月の野焼きを待つばかりです。



# 堀内康久写真展『水面下』

～諏訪湖流域の魚たち～ 7月25日(火)⇒8月27日(日)

諏訪湖にすむ魚類は、今までに30種類以上が記録されていますが、イワナ、カワマツ、ニゴイなどや、放流された種類のハクレン、ソウギョなどは今では見られません。しかし、アユ、アマゴ、ニジマス、カジカ、アブラハヤなど、ふだんは流入河川にすんでいますが体を大きくするために諏訪湖へ下ってくることもある5種類を除いても、現在でも約20種類もの魚類がすんでいます。ところが私たちがふだん目に見ることができるのは、フナ、コイ、ワカサギくらいで、それ以外にはなかなかお目にかかることはありません。湖や川に潜って、そんな目にふれない魚たちの姿やおもしろい生態をとらえている水中写真家、堀内康久さん（泉野在住）の作品を紹介します。



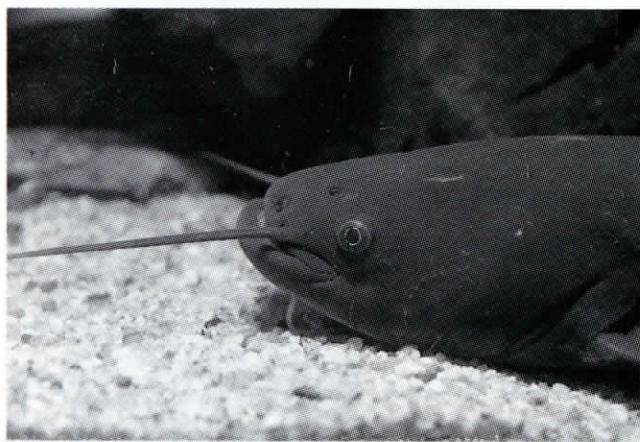
タリイクバラタナゴ ～ドブガイとお友達

タイリクバラタナゴのメスは、ドブガイのえらに10個くらいの卵を産みつけます。数か月後、貝に守られて産まれたタナゴの赤ちゃんたちは、貝の出水管から出てきます。貝の方も、赤ちゃん貝をタナゴの体に吹き付けて、遠くに運んでもらい子孫をふやします。もちろんたれつなのです。諏訪湖には、同じような生態をもつビワヒガイという魚もすんでいます。



イワナじゃないよ、カワマスだよ

北米原産のカワマスくん、郷里ではブルックトラウと呼ばれています。蓼科の池で育てたこの魚を、さしとて客に出していた旅館やホテルもありました。顔つきや胸ビレに白い線が入るところなど、イワナによく似ています。しかし、このカワマスの池を管理する人がいなくなり、カワマスたちも姿を消してしまいました。時々、上川の上流で釣れているみたいです。



ナマズのヒゲは何本？

ドジョウのヒゲは8本、ナマズのヒゲは4本です。いやさてよ、ナマズの赤ちゃんは6本あるぞ…!? オタマジャクシのような姿をしたナマズの赤ちゃんには、ヒゲが6本あるんです。それが成長するにしたがって、2本のヒゲが退化し、成魚になると4本が残ります。小さい時に6本あるのは、エサをさがすのに数が多い方が見つけやすいからだと考えられています。



ノボリマス ～諏訪湖で育って帰ってきたアマゴ

富士見町のすずらんの里駅の近くを流れる宮川に、諏訪湖でワカサギなどを食べて大きくなったアマゴがメスを連れて帰ってきました。産卵のための穴をメスが川底に掘り、オスは時々でき具合のチェックに入ります。ここにすむ小さなオスのアマゴたちは、メスの産卵とまちがえたのか、大きいオスの腹部によりそって…しばらくして「何か違うぞ」と気付いたちびアマゴたち、いっせいに四方に散らばりなにくわぬ顔。

# 茅野市美術館 委員展（Ⅲ）

7月30日(日)

～8月27日(日)

本年の企画展は、茅野市美術館委員展（Ⅲ）として開催します。

郷土出身で作家の在京特別委員の方々（洋画＝高橋靖夫・野村千春、日本画＝渡辺隆夫、書＝津金孝邦、彫刻＝立川義明・藤森民雄、工芸＝宮坂房衛、物故者・彫刻＝大和作内・細川宗英）と日常の美術館の諸事について、深い理解と協力で支えとなっていた大いに支持している美術館協議委員の方々（洋画＝篠原昭登・岩波昭雄・織田昇、日本画＝矢島堯子・伊藤博子、漆芸＝島立幸男、書＝北沢平八郎・石田初美・平林正貴・笹岡千左夫、彫刻＝川田和弘、工芸＝長田豊土・伊藤彰敏）の力作の展示会です。



篠原昭登「冬の棚田」1994 F100



岩波昭雄「夢物語」1995 F100

## これから開催します

- ◆常設展（前期） 9月2日～27日
- ◆移動展（東部中） 9月2日～12日
- ◆移動展（北部中） 9月13日～22日
- ◆常設展（後期） 10月1日～3月31日
- ◆小中学生作品展 11月5日～22日  
(絵画の部)
- ◆火曜会展 11月26日～12月3日
- ◆新春コーナー展 1月4日～21日
- ◆年賀状紹介展 1月10日～2月10日
- ◆小中学生作品展 1月26日～2月10日  
(書写の部)

## ----- 20歳を迎えた人の小中学生保存作品展 -----

8月15日は、当市の成人式の日にあたりますので、親元を離れて生活していく、帰省される方も多いかと思われます。

当美術館において、「小中学生作品展」として毎年開催し、保存されている作品の中から、今年20歳を迎える方々の作品を展示します。

期間は、8月12日から18日までと短いですが、ご来館をお待ちしています。

## 茅野市内の文化財

—平成6年度の指定文化財—

茅野市内には数多くの文化財があります。例えば原始時代では国特別史跡尖石石器時代遺跡、国史跡上之段石器時代遺跡、国宝土偶（縄文のピーナス）、歴史時代では県史跡諏訪大社上社前宮神殿跡、県史跡諏訪氏城跡上原城、信濃の中世史研究に欠かすことのできない県宝紙本墨書守矢家文書等の貴重な文化財に加え、村々には有形・無形・民俗文化財、天然記念物・名勝等の文化財が点在しています。現在国指定文化財3・県指定文化財6・市指定文化財65を数え、貴重な文化財の保護・活用のために平成6年度に新たに2件の史跡が指定となりました。その内の葛井神社の概要を今回はご紹介します。



**葛井神社** 葛井神社は茅野市上原に所在し、久頭井・楠井等とも書かれ、諏訪神社上社の諸々の重要な神事が執り行われています。中でも大祝即位にあたって行われる十三所の御社参りや、上社の年中神事の最後である御手幣送りの神事は重要なものです。御手幣送りの神事は興味深い神事で、前宮において一年中の神事に手向けた幣帛、榊等を寅の刻（午前4時頃）に前宮御室の御燈を合図に葛井の池に投げ込むもので、この際に投げ込まれたものが遠州のさなぎの池に、卯の刻（午前6時頃）に浮かび出るとの伝承が残されています。また、葛井の池には諏訪神社上社の七不思議にも数えられる伝説も伝わっています。

### —守矢史料館—

#### 企画展

## 守矢家の書画

8月27日(日)まで開催中

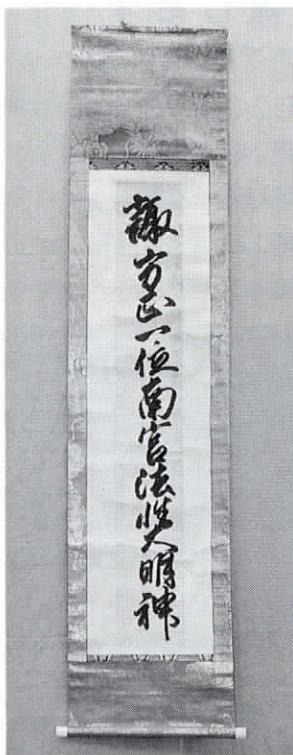
守矢史料館では、昨年の夏、守矢家に伝わる古文書とともに書画の寄託を受けました。

今回の企画展では、その書画の一部を公開しています。

左の「後奈良帝御宸筆写」は、室町時代末期の天皇後奈良帝が、諏訪上社に奉納した神名の写しで、長野県宝に指定されているものです。

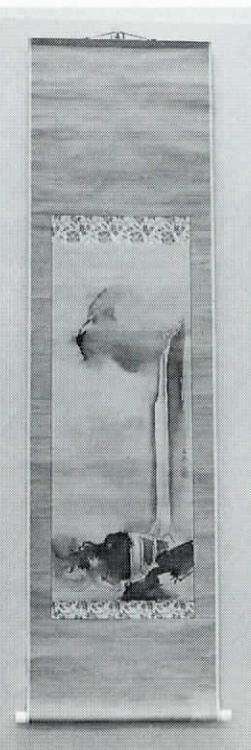
右は、江戸時代後期に活躍した画家谷文晁のものです。文晁は新画風の一派を開き、その門下には渡辺華山もいます。

その他、三十六歌仙の歌と絵の描かれた屏風や、室町時代から江戸時代にかけての天皇後陽成帝の書等も展示しておりますので、この機会に是非お出かけ下さい。



後奈良帝御宸筆写

谷文晁墨山水



茅野市の博物館・文化財調査室より 八ヶ岳通信 No.13

発行年月日 平成7年7月17日

編集・発行 茅野市尖石考古館 〒391-02 茅野市豊平4734-132 TEL. (0266) 76-2270  
茅野市八ヶ岳総合博物館 〒391-02 茅野市豊平6983番地 TEL. (0266) 73-0300  
茅野市美術館 〒391 茅野市玉川1500番地 TEL. (0266) 73-5440  
文化財調査室 〒391 茅野市塚原2丁目6番1号 TEL. (0266) 72-2101  
茅野市神長官守矢史料館 〒391 茅野市宮川389番地の1 TEL. (0266) 73-7567